

# 創業から40年、エレガンスファッションを追求してきた レデイスファッションブランド 『ZIN KATO』

じん  
人

人(世田谷区深沢、加藤徹社長、

した。

03・3704・4050)は、加藤社長の学生時代、デザイン界の芥川賞と呼ばれる「装苑賞」受賞を契機に、昭和50年に設立された。繊細でクチュール感があり、時代にとられない服。“というモットーを貫き、平成13年に開設したロサンゼルス直営店を基盤に海外事業を展開、そこでの出会いがきっかけとなり日本のテレビショッピング企業大手、ジュピターショッピングチャンネルとの取引を開始した。現在、ショッピング(テレビショッピング)にて、同社ブランド商品は10年以上高い人気を誇っている。

また、加藤社長の父親が国後島出身である関係から、平成21年、22年に北方領土にて現地のロシア人をモデルにファッションショーを開催し、日口友好関係を切り拓く試みとして読売新聞ほかで取り上げられるなど、国内外から注目を集めている。加藤社長は同社の製品づくりについて「当社は、製品価格以上の価値のあるものをお客様にご提供して喜んでいただくことが使命です。今後は、東南アジアへの進出なども計画しており、国内、海外問わずより多くの人々に良質な服を着る喜びを提供していきたい」と語る。

その後、平成15年より、今も同社のメインブランドである「ZIN KATO」を立ち上げ、平成18年に東京コレクション(現メルセデスベンツ・ファッションウィーク)に参加。昨年11月には、日本への生花輸出大国コロンビアの大使館からの依頼により、「11月22日(いい夫婦の日)に生花を奥さんに贈ろうイベント」を華やかに盛り上げるための企画に抜擢され、大使公邸にてファッションショーを開催

社長の想いがこもったファッションに興味をお持ちの方は、ジュピターショッピングチャンネルのホームページにて「ジン・カト」と検索し、ぜひ同社製品をご覧ください。ただきたい。



「ZIN KATO」ブランド